

EUREKA	弱重力レンズ効果と熱的 Sunyaev-Zel'dovich 効果による 宇宙論と銀河団物理学	大里健	132
	固体天体衝突現象を扱う数値計算法の開発と 衝突による小惑星形状形成過程の解析	杉浦圭祐	142
	すばる/HSCで探る宇宙星形成史の起源	播金優一	152
京都賞受賞記念企画	James Gunn 博士と SDSS- 京都賞を祝福して	土居守	160
	James E. Gunn 博士京都賞受賞記念インタビュー	富田賢吾	162
IAUと日本	IAUと日本の天文学の100年 —地上観測分野を中心として— (1)	岡村定矩	178
SKYLIGHT	巨大通信衛星網による天文観測への影響	大石雅寿・鹿野良平	183
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>7th International Fermi Symposium</i>	鈴木寛大	188
書評	ブラックホール宇宙物理の基礎	山田真也	190
月報だより			191

【表紙画像説明】

Jim Gunn 博士の京都賞受賞を記念するワークショップ「広域スカイサーベイによる宇宙探査：天文学の過去から未来へ」が、2019年11月13日に東京大学鉄門記念講堂で開催されました。終了後の懇親会で撮影されたこの写真には、Jim Gunn 夫妻を中心に、ゆかりの人々が写っています。中央にあるのは、授賞対象となったスローン・デジタル・スカイ・サーベイ (SDSS) で実際に使われたアルミ製の精密穿孔板 (#2954) で、望遠鏡の視野中で分光対象となった 640 天体の位置に穴が開けられています。20本の光ファイバーユニット毎に差し込む穴を区画整理した線が見えます。プリンストンの SDSS 主要メンバーのサインに加えて、日本参加グループ (JPG) メンバーが、この場でサインした特別な記念品です。

【表紙デザイン】

3月号は地球の様子を表現いたしました。水と緑の美しさを際立たせる為、背景の暗さや色の調整を慎重にいたしました。